

# 1. 評価結果概要表

作成日 成 20 年 6 月 20 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4072400346
法人名	有限会社 筑後優友会
事業所名	グループホーム さざん家
所在地	福岡県筑後市大字熊野124-3 〒833-0055 (電話) 0942-42-2328

評価機関名	社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会		
所在地	福岡市中央区荒戸3-3-39		
訪問調査日	平成20年6月20日	評価確定日	平成20年7月22日

## 【情報提供票より】(平成20年6月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16 年 2 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人 常勤	12 人 非常勤	5 人 常勤換算 10.3 人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1 階建ての～ 1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円)	無		
保証金の有無(一時金を含む)	○ 有( 100,000 円)	有の場合 償却の有無	有 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日あたり		1,000 円程度	

### (4) 利用者の概要(3月1日現在)

登録人数	17 名	男性	5 名	女性	12 名
要介護1	2 名	要介護2			5 名
要介護3	5 名	要介護4			2 名
要介護5	3 名				
要支援1	名	要支援2			名
年齢	平均 76.2 歳	最低	60 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	やまなクリニック、おおぶち歯科医院、筑後市立病院
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

のどかな田園地帯に立地し、入居者の表情の豊かさに安定したゆとりのある生活の営みが見られ、心安らぐホームである。ホーム内の壁には、入居者が外出した際のスナップ写真や季節感を取り入れた装飾品などがほど良く飾られ、ほっと心ませる空間を醸し出している。職員は、「あなたに寄り添った、あなたらしい暮らしを」を理念に、熱意を持ってケアに従事し、入居者一人ひとりの尊厳ある生活が営まれるよう支援している。開設して4年余り、比較的重度の入居者が多い中、入居者ごとのリハビリが「介護計画」に組み込まれ、自立支援への働きかけも積極的に行われている。「医療的な処置を必要としない方なら終末まで介護したい」と言う施設長の高いケアの理念と全職員のケアへの姿勢が、サービスの質の向上と認知症ケアの向上の推進役として期待されるホームである。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	<b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b> 全職員で自己評価を行い検討する取組みがある。前回の評価結果は、運営推進会議時の説明やミーティング時で報告を行い、具体的な内容を追加した理念を再作成したり、運営推進会議において災害等の緊急時に地域への協力をお願いするなど、具体的な改善の成果が見られる。
	<b>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</b> 今回の外部評価受審にあたり、管理者・計画作成担当者等にて自己評価を行い、全職員にて確認・検討を行う取組みがある。
重点項目	<b>運営推進協議会の主な検討内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)</b> 運営推進協議会では、ホームの活動状況や外部評価結果の報告、入居者の状況報告や意見交換を行っている。運営推進会議の意見等については全職員で協議するなど、運営推進会議を活かした取組みがある。
重点項目	<b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)</b> 事業所の玄関に意見箱を設置するなど、職員は家族の訪問の際に意見や思いが表出されるように努め、出された意見等については、ミーティング時に協議されている。また、家族会にて家族間で話し合う時間を持ってもらうなど、要望などを表出しやすい機会づくりへの取組みがある。
重点項目	<b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b> 0

## 2. 調査報告(詳細)

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事業 所独自の理念をつくりあげている	以前からある理念に、全職員で協議した地域密着 型サービスの視点を加えた理念を追加し、事業所と 地域の関係づくりを重視した内容の理念をつくりあげ ている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内に理念が掲示されており、自然に目に入る 工夫がある。また、理念を唱和したり、理念に基づい たケアについて日々の業務を通じて協議するなど、理 念の実践に向けた取組みがある。		
2 地域との支え合い					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員と して、自治会、老人会、行事等、地域活 動に参加し、地元の人々と交流するこ とに努めている	月1回、ホーム便りを地域に回覧し、地域の方へホー ム行事への参加を呼びかけ、夏祭りや敬老会などへ の参加がみられるなど、地域の人々の交流への取組 みがある。また、地域の文化祭への参加や町内会主 催の地域デイサービスへの利用など、利用者と地域 の方々の交流が積極的に図られている。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及 び外部評価を実施する意義を理解し、評 価を活かして具体的な改善に取り組んで いる	管理者・計画作成担当者にて自己評価を行い、全 職員で確認・検討する取組みがある。前回の評価結 果は、運営推進会議やミーティング時に報告を行い、 現在の取り組まれている内容を追加した理念を再作 成したり、運営推進会議において災害等の緊急時に 地域への協力をお願いするなど、改善の成果が見ら れる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員、町内の区長、行政の担当職員、地域包括支援センター職員、家族等の参加により、2ヶ月毎に開催されている。運営推進会議時に外部評価結果や現状についての報告・検討、参加者からの提案や意見交換が積極的に行なわれるなど、運営推進会議を活かした取り組みがある。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市グループホーム協議会の研修等への参加や運営推進会議へ行政担当職員や地域包括支援センター職員の参加により、連携が図られている。また、毎月、地域包括支援センターのまごころ相談員が数名訪問し、利用者との面談等が行われるなど、サービスの質の向上に向けた取り組みがある。		
7 追加	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	外部研修へ参加し、ミーティング時に受講報告会や勉強会を行うなど、職員の制度への理解を図る取り組みがある。また、契約時に家族全員へ資料を配布し、具体的な利用手順や連絡先などの説明を行っており、実際に制度の活用に至った取り組み事例がある。		
4 理念を実践するための体制					
8 (7)	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回、入居者の暮らしぶりや行事等の写真を掲載したホーム便りを送付するなどの取り組みがある。また、家族の訪問時やその都度の連絡等にて、入居者の様子や健康状態等について、具体的に説明している。		
9 (8)	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームの玄関に意見箱を設置するなど、職員は家族の訪問の際に意見や思いが表出されるように努め、出された意見等については、ミーティング時に協議されている。また、行事後の家族会では、職員が退席して、家族だけで話し合う時間をつくるなど、意見や要望等を表出しやすい機会づくりの取り組みがある。		
10 (9)	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職を必要最小限に抑えるように努めている。職員の異動の際は、職員が入居者を理解し、また入居者が職員に馴染めるよう1ヶ月程度は、日中のみの勤務とし、少しずつ馴染みの関係を築くような工夫がある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 人材の育成と支援					
11	19 追加	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。絵を描くことを得意とする職員は似顔絵などを描いてもらうなど、職員の特長が發揮できる工夫がある。また、外部研修や資格取得への研修については、勤務ローテーションの調整を行うなどの支援体制がある。		
12	20 追加	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	ミーティング時等に、尊厳等についての認知症高齢者への対応への取り組みはあるが、広く職員の人権意識を喚起するような勉強会や研修などへの取り組みについては、今後の課題である。	○	行政等で行われる講話への参加や法人全体の勉強会や研修会への参加、事業所内での勉強会の実施等、人権教育や啓発活動への積極的、継続的な取り組みに期待します。
13 (10)	21 (19)	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修は順番で担当を決め、外部研修は案内を回覧して参加を募ったり、研修内容や職員の経験などを加味した上で外部研修参加を促すなどの取り組みがある。受講後は、月1度のミーティングで報告を行い、知識の共有に努めている。		
14 (11)	22 (20)	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	行政が開催するグループホーム協議会が数ヶ月前に設立され、施設長が中心となって活動を始めたばかりである。職員レベルでの他のグループホームとの交流や情報交換、見学体験などについては今後行う予定である。	○	今後、他事業所との管理者・職員の相互交流やネットワーク通じて、新たな発見や気づきを生む機会を積極的に持ち、更なるサービスの質の向上に向けての取り組みを期待します。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15 (12)	28 (26)	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員による利用宅の訪問や本人・家族等のホーム見学、見学時に入居者と共に過ごしていただくなど、安心して入居後の生活に馴染めるように柔軟に対応する仕組みがある。新しい利用者には、常時職員が付き添えるように配慮し、利用者の不安を軽減し徐々に馴染めるような工夫がある。		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16 (13)	29 (27)	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理の味付けや調理の仕方、生活の知恵など、日常の中でのかわりを通じて様々なことを学ぶ機会がある。また、職員やホーム全体の様子をみながら適切に手助けをしてくださる利用者もあり、共に支えあいながら暮らしている関係や雰囲気づくりへの取り組みがある。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1 一人ひとりの把握					
17 (14)	35 (33)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との日々のかかわりを通して、利用者の何気ない一言や表情など利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努め、カンファレンス時に職員全員で意見を出し合い、利用者の視点に立って検討している。また、利用者の言葉、行動や表情などの観察、分析などの記録を通して、把握した情報の共有化に努めている。		
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18 (15)	38 (36)	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	利用者のその人らしい暮らしを優先し、入居時に把握した生活歴や希望、家族の意向、日々のかかわりの中で把握した情報をもとに、計画作成担当者が介護計画を立案し、全職員参加のカンファレンスで協議し介護計画を作成している。		


外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19 (16)	39 (37)	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行う とともに、見直し以前に対応できない変 化が生じた場合は、本人、家族、必要な 関係者と話し合い、現状に即した新たな 計画を作成している	入居2週間後に介護計画を見直し、ニーズとのズレ がないか等を検討している。その後は3ヶ月ごと、もし くは状態変化時に見直しや評価を行い、家族・職員等 で話し合い、現状に沿った計画を作成している。ま た、毎月、管理者・職員間にて利用者の現状につい ての話し合いと確認が行われている。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
20 (17)	41 (39)	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に 応じて、事業所の多機能性を活かした柔 軟な支援をしている	本人・家族の状況を把握し、通院や送迎等必要な支 援は柔軟に対応している。医療連携体制による協力 医療機関の週1回の往診や病院との連携を密にし、 入院時は、利用者の見舞い等や早期退院に向けて の家族との情報交換などなどの支援を行っている。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21 (18)	45 (43)	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関 係を築きながら、適切な医療を受けられ るように支援している	ホーム協力医より、定期的な週1回の往診やホーム 職員の看護師による利用者の状態把握を行い、利用 者の状態に応じて協力病院への受診の支援がある。 また、耳鼻科・眼科の受診は、ホームにて支援するな どの取組みがある。		
22 (19)	49 (47)	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、できるだけ早い段階から本人や家 族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有している	重度化や看取りの指針を作成し、契約時に協力医 より直接説明を行い、書面にて同意を得ている。早い 段階で本人や家族等の意思を確認し、かかりつけ医・ 職員を交えて話し合いを行っている。また、状態変化 時に家族・本人の思いを確認し、全員で方針を共有し ている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23 (20)	52 (50)	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損 ねるような言葉かけや対応、記録等の個 人情報の取り扱いをしていない	施設長は、日々のかかわりの中でその都度、プライ バシーの尊厳についての説明、指導等を行っている。 管理者は、職員の意識化を図り、日々のかかわり の中での声かけや対応については、日常的に心がけて ケアを実践している。		
24 (21)	54 (52)	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している	利用者の体調に配慮しながら、職員の都合等を優 先するのではなく、利用者一人ひとりのペースや希望 を尊重し、その人らしい暮らしを支援していく取組みが ある。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25 (22)	56 (54)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人 ひとりの好みや力を活かしながら、利用 者と職員と一緒に準備や食事、片付けを している	野菜の下ごしらえや食器洗いなど、利用者の出来る 範囲でかかわる取組みが見られた。職員は利用者 と一緒にテーブルを囲み、何気ない声かけを行いなが ら食事を勧めたり、食器を入れ替えるなど、和やかな 雰囲気の中で、食事が楽しみとなるような工夫があ る。		
26 (23)	59 (57)	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてし まわずに、一人ひとりの希望やタイミ ングに合わせて、入浴を楽しめるよう に支援している	毎日の入浴が可能であり、利用者の体調に配慮し ながら、利用者一人ひとりの希望や状況に応じて柔 軟に対応している。入浴の順番や好みの湯温など、 入浴を楽しめるように支援している。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27 (24)	61 (59)	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせる ように、一人ひとりの生活歴や力を活か した役割、楽しみごと、気晴らしの支援 をしている	洗濯物たたみ、食器拭き、草取り等の利用者一人 ひとりの役割等が自然にできており、利用者の出来る ことや生活歴などを把握した上での支援がある。		
28 (25)	63 (61)	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひ とりのその日の希望にそって、戸外に出 かけられるよう支援している	日常生活での買物や散歩、ドライブ、花見、外食な どの外出支援がある。また、天気の良い日は事業所 の広い芝生で昼食やおやつを楽しむなど、積極的に 戸外に出る取組みがある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29 (26)	68 (66)	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解して おり、鍵をかけないケアに取り組んでい る	日中は開錠しており、職員は入居者の様子を細かく 観察・見守りを行い、さりげなく声をかけたり、一緒 に出かける等の利用者の自由な暮らしを支える支援と 安全面への配慮がある。		
30 (27)	73 (71)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜 を問わず利用者が避難できる方法を身に つけ、日ごろより地域の人々の協力を得 られるよう働きかけている	防火管理者が夜間緊急マニュアルを作成している。 年1回の消防署の指導による避難訓練の実施とホーム 独自の避難訓練が年に1回実施され、避難経路や 避難方法などの確認、指導が行われている。運営推 進会議や日々のかかわりを通して、近隣の見守り協 力が得られるための働きかけがみられる。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31 (28)	79 (77)	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	カロリーや栄養バランスに配慮した福祉食(委託)の メニューを参考にホームにて調理し、提供している。ま た、管理栄養士の指導を受け、利用者一人ひとりの 状態に応じてカロリー計算を行ったり、食事量を調整 するなどの工夫がある。食事や水分摂取量はチェック 表に記録しており、利用者一人ひとりの栄養・水分摂 取量等を把握するなどの支援がある。		



外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32 (29)	83 (81)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や居間には季節の花や絵を、廊下には入居者 の外出した際のスナップ写真や季節感を取り入れた 装飾品などがほど良く飾られ、ほっと心和ませる空間 を醸し出している。リビングは自然採光を取り入れ、リ ビングから裏庭や畑を眺めることができ、心地よい空 間となっている。		
33 (30)	85 (83)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたものや 好みのものを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている	居室は利用者の希望に応じて、和室・洋室どちらも 選択できる対応がある。居室には、テレビ、写真、扇 風機、シルバーカー（押し車）、家具などの使い慣れ たものや馴染みの物が持ち込まれており、安心して 居心地良く過ごすための居室作りへの工夫や配慮が 見られた。		

 は、重点項目。  
(数字)は、国の標準例による番号